

■活動報告

|| 慶應義塾全体 ||

情報基盤の整備

区 分	細 目	内 容
キャンパス間ネットワークおよび外部接続	2008年度特記事項	従来、WIDE（湘南藤沢10G、三田100M、スタティックルーティング）のみだった外部接続を、SINET（日吉4G）とOCN（三田100M）を含む3系統のマルチホーム化を行った。これにともない、義塾のAS番号を取得し、BGPでルーティングを行うようになった。
		芝共立キャンパスの接続を行った。これは三田近辺の広域イーサから1GBの接続を提供する形で実現された。
		大阪リバーサイドキャンパスの接続を行った。これはVPNを利用して実現された。
		日吉・湘南藤沢キャンパス間の回線を1G×8の回線から、10G×1の回線に変更した（矢上・湘南藤沢間の1G×8の回線は廃止された）。
	ネットワーク図	耐障害性の向上のため、日吉・湘南藤沢を結んでいた100Mの回線を矢上・湘南藤沢間を結ぶように移動した。
	ネットワーク図	巻末参照
ホスティング		塾内各組織サーバ（メール、Web）の運用コスト低減とセキュリティ向上を目的としたレンタルサーバ・サービス。利用者はサーバ運用を意識せず、サービス（メール、Web）だけを利用可能。大きく、義塾公式サイト向け、学部・学科向け、外部サービス紹介の3種類を提供。
ハウジング		学部・学科等のサーバを、空調・電源環境が整備されたITCサーバ室にて預かるサービス。サーバ自体の運用・管理は利用者が行う。ホスティングサービスで提供しているサービス以外の独自サービスを運用したい場合等に利用可能。
認証システム	keio.jp(共通認証システム)	慶應義塾が提供する各種情報サービスを、ひとつのIDとパスワードで安全に利用するためのシングルサインオン・システム
ソフトウェアライセンス契約 (ライセンスプログラム、全塾サイトライセンス)		Microsoft（AOL（Academic Open License）、CA（Campus Agreement）、SA（School Agreement）、Adobe CLP（Contractual License Program）、Mathematica、SAS、SPSS、AMOS、JMP、FAME、Kaspersky、Becky! Internet Mail、Easyシリーズなど

keio.jp

区 分	細 目	内 容
システム運用・管理	システム運用・管理	keio.jpシステムの運用・管理業務
	システム開発・改修	keio.jpシステムの開発、改修に係る業務
	回線確保・運用	認証連携用のセキュアな専用回線の確保およびその運用
データ管理	データ管理	ユーザ情報、アプリケーション情報の運用管理
	データ連携	教職員データ、学生データの受け取りとシステムへの投入、更新処理
アプリケーション管理	運用管理	各アプリケーションの運用および運用情報管理 システム停止情報等の掲示
	システム構成情報管理	各アプリケーションのシステム構成情報（認証連携部）の管理
アプリケーション開発	要件定義および開発	各部門からのアプリケーション開発要望のヒアリングと調停、要件定義および開発
ユーザサポート	ヘルプデスク	keio.jpシステムおよび同アプリケーションの問い合わせ対応等
	講習会等の開催	keio.jpシステムおよび同アプリケーションの講習会等の開催
塾内システムとの連携	認証連携、システム統合	塾内既存システムとの認証連携によるシームレスなアクセス環境の実現

研究・開発

区 分	細 目	内 容
共同実験	産学協同研究	<p>「テラビット級キャンパスネットワーク協同実験」 (2009/2-)</p> <p>共同研究者：日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、慶應義塾</p> <p>概要：横須賀（NTT）、日吉キャンパス、湘南藤沢キャンパスをテラビット級のROADM RING ネットワークで接続した。</p>
		<p>「ON-VECTOR2009」 (2009/2)</p> <p>共同研究者：日本電信電話株式会社、DMC機構</p> <p>概要：テラビット級のROADM RINGネットワークの横須賀（NTT）、湘南藤沢間のパスを利用して、横須賀（NTT）、UCSD（University of California、San Diego）間に4Kシネマを伝送した。</p>
	塾内活動	<p>「超高画質デジタルメディア伝送における検証実験」 (2008/7/22)</p> <p>共同研究者：DMC機構</p> <p>概要：三田キャンパスから、WIDE、JGN2plus、山形県基幹高速通信ネットワークを経由し鶴岡タウンキャンパスにて折り返しパスを設定することにより、1,000km超の中距離伝送路を確保し、圧縮率・方法を変化させながらHD画質コンテンツの送受信を行い、遅延やロス率に対する検証を行った。</p>
		<p>「鶴岡セミナー特別企画「命の実感プログラム～土の土方と水滴の時間」配信実験」 (2008/8/31-2008/9/3)</p> <p>共同研究者：教養研究センター、DMC機構</p> <p>概要：鶴岡タウンキャンパスで撮影したHD画質コンテンツを、山形県基幹高速通信ネットワーク、JGN2plus、WIDE経由で三田キャンパスに送り、そこに設置されたエンコーダを利用して変換・圧縮、圧縮後のコンテンツを鶴岡キャンパスの主会場に戻し入れると共に、T-LEX経由で全世界への配信を行った。</p>
システム開発	keio.jp	<p>keio.jpで利用できるシステムの開発・改修：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慶應メール（WebMail） ・教育支援システム ・議事録管理システム ・ソフトウェアライセンス取得システム ・選挙システム

||各地区報告||

【三田キャンパス（三田ITC）】

三田キャンパスには文系4学部・6研究科、諸研究所、図書館、法人組織など多くの組織が丘の上にひしめいている。二十歳すぎの学生、留学生、通信教育部のスクーリング生、教員、国内外からの訪問研究員など、幅広い世代と経歴の方が情報環境を利用者している。

文系の学生や教員の中にはパソコンが苦手な方も多く、これらの方を対象とした支援体制が必要である。国内外の拠点をネットワークで結んだ遠隔講義・会議、イベントが、年間100回以上行われる。三田ITCには、このような多様なニーズへの対応が求められている。

主要な建屋は10Gbpsを超えるネットワークで結ばれ、全ての部屋で有線・無線のネットワークが使用できる。パソコンは9教室に約400台、図書館やオープンスペースなど8エリアに約200台設置され、貸出機も130台用意し、利用相談員、教員向けヘルプデスクも開設している。

サービスの改善は積み重ねられている。一方で、20年以上前の仕器や配線の老朽化、立ち席利用パソコン、分散した設置スペースの集約など、器の面では課題を抱えており、キャンパス内の整備計画と連携して、計画的な再整備が必要な状況にある。

2008年度は、定期的な機器更新や利用環境整備、日常の利用支援、一貫教育校支援に加え、三田キャンパス情報環境再整備計画に基づき、無線LAN機器更新（3年計画第1期）、パソコン設置教室改装工事（2室）、研究室棟向けネットワーク10Gbps化等を実施した。創立150年記念事業関連では、記念式典の三田会場への映像中継、南校舎建替えに伴う関連施設のネットワーク基盤の要件定義と設計等を実施した。

今後は、教育の質の保証や学習支援、国際化への対応、生涯学習の支援など、情報技術を活用した新たな局面への対応が求められることが想定される。1つの試みとして、特色GPと連携して、TOEFL iBTの学内受験を実施した。

【日吉キャンパス（日吉ITC）】

日吉キャンパスは、文学部、医学部、薬学部の1学年と、経済学部、法学部、商学部、理工学部の1、2学年および、経営管理研究科、システムデザイン・マネジメント研究科、メディアデザイン研究科が設置され、合計で約11,000人が塾生生活を送っている。また、いくつかの研究施設等もあり、学部、研究科の枠にとらわれない、教育研究活動が行われている。

学部においては、学生数が多く情報処理関係の設置科目も多いため、キャンパス内に約1,000台のパソコンを設置し、授業や自学自習等での幅広い利用が可能となっている。また、学生や教員などが個人所有のパソコンをキャンパス内に持ち込み、ネットワークを自由に利用できるように、情報コンセント（有線LAN）を設備した教室や、建物内の全域で無線LANを利用できるようにアクセスポイントを数多く設置するなど、ユビキタスな情報環境を提供している。

研究科においては、慶應義塾創立150年記念事業の一貫として2008年8月にキャンパス内に新築された協生館で、高度IT技術を使用した先端的な研究教育活動が行われている。そのため、従来のユビキタスな情報環境に加え、超高速かつ大容量な通信が可能なネットワーク機器や設備等を導入し、安全かつ円滑にネットワークが利用できる情報環境を提供している。

利用者サポートとしては、各学部の新入生を対象とした新入生ガイダンスで、キャンパス設置パソコンの使い方や、個人所有パソコンをネットワークに接続する方法など、情報環境サービスの利用や注意点などについて説明を行っている。また、主に学生からの細かな利用相談については、日吉ITCコンサルタント約30名（学生アルバイト）が親身に応じている。

IT利用の初級者から先端的の研究を行う最上級者までを有する日吉キャンパスでは、全てのユーザをサポートするようなIT利用環境を、今後も継続提供して行くことが求められている。

【信濃町キャンパス（信濃町ITC）】

信濃町キャンパスは東京都新宿区にあり、医学部、看護医療学部、大学院医学研究科、大学病院が設置されている。学生は、医学部2～6年生、看護医療学部3年生、医学研究科全学年が所属し、2010年4月からは薬学部4年生の病院実習が開始される予定となっており、日吉、湘南藤沢、芝共立の各キャンパスとの学生の行き来があること、所属学生の合計が1,000名に届かないのに対し、大学病院があることにより教職員が3,000名を超えることが他キャンパスには無い特徴となっている。

学生は医学部4年生以上と看護医療学部3年生が病院実習を行っており、医学部の臨床研究部門が病院内に点在していることから、病院を含むキャンパス内の全域にネットワーク整備を行っており、教育・研究の両面で様々に利用されている。また、病院情報システム（Hospital Information System: HIS）とも協調を行っており、一部ネットワーク施設の共用化等によりネットワークの拡充とコスト低減を図っている。

信濃町ITCで提供している共用施設としては、教室等（4部屋）への設置PC170台、情報コンセント（3室）201口、無線LANアクセスポイント7箇所があり、それぞれ認証を行うことで利用可能となっている。また、所属学生向けにノートPCの貸出（70台）を行っており、情報コンセントや無線LAN接続によりネットワーク利用が可能となっている。

信濃町キャンパスでは、病院棟を中心した大規模な建て替えが行われる予定となっており、これを前提とした組織の再編が実施されている。病院では患者へのITを活用したサービスを予定しており、ネットワークはより複雑で広範囲となっていくことが予想される。今後も他キャンパスと同調しながら一層のネットワーク基盤整備に取り組んで行く。

【矢上キャンパス（理工学ITC）】

矢上キャンパスは理工学部の専門課程と理工学研究科という一学部一研究科だけからなるキャンパスである。矢上は1984年に今や伝説となっているネットワーク実験が行われた日本のネットワーク環境発祥の地でもあり、インターネットの黎明期からネットワークの構築整備が進められ、各学科、研究室等の草の根ネットワークの集合体といった特徴を持っている。理工学ITCでは、これらの多種多様なネットワークに対して、相談、設計、構築、運用支援といった幅広いサービスを行っている。

理工学ITCでは計算機施設としてワークステーション室を7室合計600台を超えるワークステーションと約80台の授業用貸出機を用意している。理工学部では教育用計算機環境として古くからUnix系OSが利用されており、理工学部計算センター時代からの教育用Unix系環境もWindows環境とは別に維持しているのも特徴である。これらのWindows、Unix系ワークステーションには、教育・研究のために、数値計算／数式処理、構造解析、CAD、流体解析、分子軌道計算等の科学技術系ソフトウェアを数多く搭載しており、数多くの授業で活用されている。また、これらの個人利用のためのワークステーションの他に、授業等で並列計算や長時間の計算が必要な場合のために、教育用計算サーバが用意されている。この他に大学共通の研究用計算機環境として、1ノードで最大64core/512GBを占有利用可能なHigh Performance Computer（HPC）を用意して、シミュレーション等の大規模計算の利用に供している。

現在、矢上キャンパス施設整備委員会が組織され、設備の更新、教室・研究室の再配置準備が進んでいる。これに合わせて施設およびキャンパスネットワークのさらなる整備を進めていく予定である。

【湘南藤沢キャンパス（湘南藤沢ITC）】

SFCという略称で呼ばれる湘南藤沢キャンパスは、神奈川県藤沢市にあり、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の3学部と、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科の大学院2研究科が設置されている。広大な敷地には、自然とハイテクが調和する未来型キャンパスをコンセプトに、充実したネットワークシステムが整備され、塾生・教職員間において活発なコミュニケーションが図られている。

SFCで学ぶ学生、および教育・研究に携わる教職員のさまざまな活動を支援するキャンパスネットワークシステムは、1990年のキャンパス開設当初よりSFC-CNS(Campus Network System)と呼ばれ、最先端の環境を提供できるよう、21世紀のデジタルキャンパスとしてふさわしい環境整備を追求している。一方、SFC-ERNS(Evolutional Research Network System)と呼ばれる政策・メディア研究科におけるネットワークシステムでは、主に大学院生を対象とし、CNSで提供されている「生活の基盤」にとどまらない、「研究活動の基盤」を提供することを目的としたサービスを展開している。

また、SFCの学生は、ノートPCを授業等の学習利用だけでなく、学生生活においても積極的に活用している。キャンパス内の主要な建物付近の全てにおいて利用可能な無線LANに接続し、芝生の上や食堂などでノートPCを広げている学生の姿がよく見かけられるのもSFCの特色であるといえる。

近年のCNSにおける環境整備としては、設置スペースの効率化が図られた機器などを積極的に導入し、仮想化技術を採用するなど、利用者にとっても管理者にとっても柔軟性の高いシステムの構築を目指しながら、機器の冗長化等によるシステムの信頼性向上にも取り組んでいる。2008年度はSFC-CNSにおける計算サーバおよびWebサーバの更新を行い、サーバのクラスタ化や仮想化を取り入れたシステム構成とした。また、2009年度にはキャンパスネットワークの要となるスイッチや学生用ファイルサーバの更新などの大規模なシステム更新が控えており、今後の技術動向についても注目していきたい。

【芝共立キャンパス（芝共立ITC）】

芝共立キャンパスは三田キャンパスと同じく東京都港区にあり、薬学部と薬学研究科の一学部一学科が設置されている。

学生は、現在薬学部2～4年生が所属しており、1年生は日吉キャンパスに所属しているが、週に2日芝共立キャンパスに来校している。

芝共立ITCで提供しているPC教室は、94台のPCを設置しており主に講義・実習等で利用されている。講義・実習での利用がない場合は、学部学生・院生に開放している。

メディアセンター内、学生食堂、談話室等に情報コンセント、無線LANアクセスポイントを設置し、申請制でネットワーク利用を開放している。

2008年度に合併し、ネットワーク環境等他キャンパスとの差異が見られるため、今後は、ネットワークサービスの均一化のためネットワーク配線の見直し、リプレース、認証方法等検討・改善等に取り組んでいく。

|| キャンパスネットワークシステム ||

情報基盤の整備

地区	区分	細目	内容
三 田	PC	教室設置	321、322、331、333授業時以外はオープン利用可能
		オープン利用	共用PC室、学生ラウンジ、図書館オープンエリア、南館図書室ITスペース、PCエリア
	ネットワーク接続	無線LAN	キャンパス内の屋内全域でユーザ認証により利用可能 (IEEE802.11b)
		情報コンセント	教室・研究室・自習エリア等で接続可能、速度 (100Mbps/1Gbps) は建物による
		リモート接続	ダイヤルアップ23回線
	印刷環境	統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム, IPP印刷 カラー：21台
		大判印刷	共用パソコン室内に設置
日 吉	PC	教室設置	701、703、704、F01、641、授業時以外はオープン利用可能 (641を除く)
		オープン利用	第7校舎B1Fロビー、702、F11、J13、図書館インターネットエリア、協生館PC室・印刷室・図書室
	ネットワーク接続	無線LAN	キャンパス内の屋内全域でユーザ認証により利用可能 (IEEE802.11b)
		情報コンセント	教室・研究室・自習エリア等で接続可能、速度 (100Mbps/1Gbps) は建物による
		リモート接続	ダイヤルアップ46回線
	印刷環境	統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム, IPP印刷 カラー：21台
信 濃 町	PC	教室設置	孝養舎4F・403教室、新教育研究棟5F自習室B、第三校舎B1F・PC室、北里記念医学図書館棟1F閲覧室
	ネットワーク接続	無線LAN	総合医科学研究棟1Fラウンジ、孝養舎2F自習室、同ホール他計7箇所 (試行中)
		情報コンセント	東校舎2F講堂、孝養舎2F自習室、北里記念医学図書館棟1F閲覧室、計201口
		リモート接続	ダイヤルアップ23回線
	印刷環境	統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム カラー：2台、モノクロ：6台
理 工 学	HPC		SMP4ノード、クラスタ8ノードのハイブリッド型
	PC	教室設置	12-107、12-109、14-B101、14-B102、14-B103、授業時以外はオープン利用可能 (12-109を除く)
		オープン利用	14-B107、23-319、14棟B1Fオープンスペース、メディアセンターPCエリア
	ネットワーク接続	無線LAN	キャンパス内の屋内全域でユーザ認証により利用可能 (IEEE802.11b)
		情報コンセント	教室、研究室、自習エリア等で利用可能、通信速度：1Gbps (一部100Mbps)
		リモート接続	ダイヤルアップ23回線
	印刷環境	統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム, IPP印刷 カラー：13台、モノクロ：3台
大判印刷		14棟地階理工学ITC内設置	

地 区	区 分	細 目	内 容	
湘南藤沢	PC	教室設置	特別教室（情報処理演習用）：κ18、ε17、ι18、ο17、看護医療学部棟205教室 特別教室（3Dアニメーション実習用）：λ11 特別教室（デジタルビデオ編集用）：λ18 特別教室（音楽制作用）：λ21	
		オープン利用	メディアセンター（図書館）1階 情報処理演習用PC（特別教室と同機） ワンストップPC（電子メールやWebなど短時間利用者向け） スキャナ専用PC（紙媒体ドキュメントの電子化用） デジタルビデオ編集用PC（特別教室と同機能のもの） 各種メディア変換用PC（VHS、Video8、DV等に対応する周辺機器を設置） 音楽制作用PC（特別教室と同機）	
		ノートPC利用推進	湘南藤沢キャンパスでは、学部生に対してノートPCの利用を推奨している。実際にノートPCの使用を前提とした授業も行われており、共同購入の案内や推奨仕様の提示を毎年度実施している。また、授業期間中は短期間でのノートPCの貸出しも行っている。	
	ネットワーク接続	無線LAN	キャンパス内の校舎各棟および周辺のほぼ全域にてIEEE802.11a/b/gでの接続が可能	
		情報コンセント	大学：8教室、メディアセンター 大学院：2、3階ロフト ほぼ全てが1 Gbpsで接続可	
		リモート接続	ダイヤルアップ：23回線、フレッツ接続（ISDN、ADSL、B-flets）	
	印刷環境	統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム（独自運用）、IPP印刷 カラー：6台、モノクロ：16台	
		大判印刷	大学院棟に設置	
	芝 共 立	PC	教室設置	マルチメディアパソコン室（MMPC室）授業時以外はオープン利用可能
		ネットワーク	無線LAN	談話室、体育館トレーニングジム室付近、学生ホール、460講義室（IEEE802.11a/g）
情報コンセント			全教室・会議室に配備	
印刷環境		統合印刷環境	課金オンデマンドプリンタシステム（独自運用） カラー：2台	
		大判印刷	スライド作成室内に大判印刷用プリンタ設置	

|| キャンパスネットワークシステム ||

研究・教育支援

【三田ITC】

サービス	種別/利用資格等	内 容
三田ITC情報ネットワークアカウント	UNIX + Windows	対象：三田キャンパス大学院生・学士/2年編入学生・特別学生・通信教育部生（卒論指導済）・一部教職員
	Windows	対象：学部生・大学院生・通信教育部生・教職員・その他
ネットワーク接続	無線LAN	認証：慶應ID、三田/日吉ITC情報ネットワークアカウント
	情報コンセント	認証：無線LANと同じ
	リモート接続	ダイヤルアップ接続認証：三田/日吉ITC情報ネットワークアカウント取得者（UNIX + Windows）
ファイルサーバ	学生/教職員	ホームディレクトリ容量：500MB
電子メール	キャンパスメイン	対象：三田キャンパス大学院生・文学部2年編入者・学士入学者/任意（特別学生・卒論指導済通信教育部生・教職員）
Web	個人利用	対象：上記電子メール対象者と同じ
		容量：ホームディレクトリ500MBの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷	対象：三田ITC情報ネットワークアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷	対象：三田ITC情報ネットワークアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使って印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	大判印刷	対象物：慶應義塾大学公認学生団体に所属するサークルの学内掲示物・三田祭のポスターや展示作品
貸出PC	学生	対象：三田キャンパス学部生/大学院生（三田ITC情報ネットワークアカウント取得者）
		貸出期間：7泊8日間（開講期）
		台数：130台
	教員	対象：三田キャンパスの常勤教員、三田キャンパス内の研究室などに設置して利用
台数：368台		
ソフトウェア	学生	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール
	教職員	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：窓口にてインストールメディアを貸出す
遠隔会議・イベント対応		ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口	受付時間：8：45～18：15（開講期）、8：45～17：00（休講期）
		申請内容：三田ITC情報ネットワークアカウントの登録・照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェア利用
	学生用ヘルプデスク	受付時間：9：00～18：00 利用相談コーナー/ホットライン
	教員用ヘルプデスク	受付時間：9：00～17：00（11：30～12：30除く）
広報		三田ITCWeb、新任教員対象：説明会・利用案内冊子、学生対象：アカウント取得ガイド配布

【日吉ITC】

サービス	種別／利用資格等	内 容
日吉ITC情報ネットワークアカウント	UNIX + Windows	対象：学部生・大学院生・特別学生・別科／日本語研修課程生・学部研修生・教職員・その他
	Windows	対象：通信教育部生・教職員
ネットワーク接続	無線LAN	認証：慶應ID、三田／日吉ITC情報ネットワークアカウント
	情報コンセント	認証：無線LANと同じ
	リモート接続	ダイヤルアップ接続認証：三田／日吉ITC情報ネットワークアカウント取得者（UNIX + Windows）
ファイルサーバ	学生	ホームディレクトリ容量：512MB
	教職員	ホームディレクトリ容量：1,024MB
電子メール	キャンパストメイン	対象：2008年度以前から日吉ITC情報ネットワークアカウントの継続利用者のみ利用可能、2008年度の新規登録者からメールアドレス（@hc.cc.keio.ac.jp）の付与中止
Web	個人利用	対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者、ホームディレクトリ内に作成可能
印刷環境	オンデマンド印刷	対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷	対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使って印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
貸出PC	学生	対象：日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者（通信生などを除く）
		貸出期間：7泊8日間（開講期）または21泊22日間（休講期）
		台数：120台
	教員	対象：日吉キャンパスの常勤教員、日吉キャンパス内の教員個室や研究室などに設置して利用
台数：300台		
ソフトウェア	学生	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：パソコンを持参して窓口にてインストール
	教職員	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：窓口にてメディア貸出
遠隔会議・イベント対応		ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口	受付時間：8：45～18：15（開講期）、8：45～17：15（休講期）
		申請内容：日吉ITC情報ネットワークアカウントの登録・照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェア利用
	学生用ヘルプデスク	受付時間：9：00～18：00（開講期のみ） コンサルタントステーション
	教員用ヘルプデスク	受付時間：8：45～18：15
利用説明会・ガイダンス		4月に学部新入生を対象に利用説明会を実施
広報		日吉ITCWeb、日吉キャンパスネットワーク活用ハンドブック（利用案内冊子）を編集（4月に学部新入生へ配布）

|| キャンパスネットワークシステム ||

研究・教育支援

【信濃町ITC】

サービス	種別/利用資格等	内 容
信濃町ITC情報ネットワークアカウント	UNIX	学部生・大学院生および教職員
	Windows	学部生・大学院生および教職員
ネットワーク接続	無線LAN	認証：情報ネットワークアカウント（ワークステーションシステム） （試行中）
	公開情報コンセント	認証：情報ネットワークアカウント（ワークステーションシステム）
	信濃町キャンパス研究用共用ネットワーク	教員（研究室）対象、申請による機器のネットワーク接続
	リモート接続	ダイヤルアップ接続認証：情報ネットワークアカウント（ワークステーションシステム）
ファイルサーバ	ホームディレクトリ	容量：1,024MB
電子メール	キャンパストメイン	sc.itc.keio.ac.jp
Web	個人利用	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/~ログイン名/、容量はホームの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷	対象：情報ネットワークアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコン・WSから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
貸出PC	学生	対象：キャンパス所属学部・大学院生 貸出期間：7泊8日 台数：70台
ソフトウェア		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：窓口にてメディア貸出
遠隔会議・イベント対応	貸出	ビデオ会議装置（PCS-G70、polycomm）
	技術支援	医学部臨床実習開始前共用CBT試験、医学部総合医科学研究センター・リサーチパーク部門ネットワーク運用
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口	受付時間：9：00～16：30 申請内容：システム利用登録・照会・パスワード再発行、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェアライセンス利用、情報コンセント工事
	ヘルプデスク	平日9：15～20：45、土曜日9：15～17：15
利用説明会・ガイダンス		医学部2年生、看護医療学部3年生、大学院医学研究科新生、大学院健康マネジメント研究科新生、大学病院助教（専修医）・新研修医、大学病院新任職員
広報		信濃町ITCWeb、利用ご案内

【理工学ITC】

サービス	種別／利用資格等	内 容
理工学ITC情報ネットワークアカウント	UNIX	対象：学部生・大学院生・教職員・その他
	HPC利用アカウント	対象：学部生・大学院生・教職員・その他
ネットワーク接続	無線LAN	認証：慶應ID、理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウント
	情報コンセント	認証：無線LANと同じ
	リモート接続	ダイヤルアップ接続認証：理工学ITC情報ネットワークアカウント
ファイルサーバ	学生／教職員	ホームディレクトリ容量：500MB、研究上の必要に応じて申請により増加可能
電子メール	キャンパストメイン	対象：理工学ITC情報ネットワークアカウント取得者
Web	個人利用	対象：理工学ITC情報ネットワークアカウント取得者、容量：ホームディレクトリの範囲内
印刷環境	オンデマンド印刷	対象：理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者、キャンパス内設置WS・PCから印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	IPP印刷	対象：理工学／日吉ITC情報ネットワークアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使って印刷要求、プリペイドカードによる課金印刷
	大判印刷	対象：学会発表、ポスターセッション等
貸出PC	授業用	授業単位、授業時間内のみ貸出、台数：80台
ソフトウェア		対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる
		利用方法：インストールメディアの貸出またはパソコンを持参して窓口にてインストール
遠隔会議・イベント対応	利用者支援	遠隔会議システム機器利用サポート、学会・会議等ネットワーク利用サポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口	受付時間：8：45～16：30 申請内容：理工学ITC/HPC情報ネットワークアカウントの登録・照会・パスワード再発行、日吉ITC情報ネットワークアカウント申請取次ぎ、慶應IDの照会・アクティベーションキー再発行・パスワード再発行、パソコン貸出、ソフトウェアライセンス利用
	ヘルプデスク	WS・PC利用サポート 8：45～20：00（開講期）、8：45～17：00（休講期）
利用説明会・ガイダンス	利用説明会	Matlabセミナー、LabVIEWセミナー、HPC利用説明会（各1回）
	ガイダンス	新任教員向け説明会、留学生向けガイダンス（年2回）
広報		理工学ITCWeb、学生用利用案内冊子（和文、英文）、矢上キャンパスIT利用バイブル（冊子）

|| キャンパスネットワークシステム ||

研究・教育支援

【湘南藤沢ITC】

サービス	区分	種別/利用資格等	内 容
情報ネットワーク アカウント	CNS	CNSアカウント	取得資格： ・学部生・大学院生（総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科） ・教職員（湘南藤沢中・高等部を含む） ・非常勤講師 ・共同研究者 ・特別学生（聴講生、科目等履修生、研究生）
		CNSサブアカウント	取得資格： ・湘南藤沢キャンパス設置学部・研究科以外の学生（通信教育課程、外国語学校を除く） CNSアカウントとの相違点： ・@sfc.keio.ac.jpのメールアドレスが付与されるが、所属キャンパスで使用しているアドレスへの転送サービスのみ ・ホームディレクトリの容量は150MB ・メディアサーバの利用不可
		CNS卒業生アカウント	インターネットが広く普及していなかった時代に、慶應義塾のすべての学部の卒業生（塾員）が現役生との交流や塾員同士の交流を促進することを目的として設置された。 2010年3月末をもってサービスは終了する
	ERNS	ERNSアカウント	取得資格： ・政策・メディア研究科の大学院生 ・政策・メディア研究科の教職員
ネットワーク接続	CNS	無線LAN	利用資格：CNSアカウント取得者 機器登録認証：接続機器のMACアドレスをオンライン登録 個人証明書認証：個人証明書をオンラインにて発行し、証明書を接続端末にインストールしてIEEE802.1x認証設定を行う
		情報コンセント	研究棟・講義棟をはじめ、ほぼすべての教室に設置されており、一部の教室には各自所有のノートPCを接続可能な数を配備している。
		リモート接続	ダイヤルアップ接続：tty、PPP、PIAFS フレッツ接続：最大10Mbps（神奈川県内/町田市/稲城市の一部） VPN接続：SSL、L2TP、IPSEC
	ERNS	無線LAN	大学院棟の共同研究室およびその周辺のエリアでは、ERNSのネットワークにIEEE802.11a/b/gでの無線LAN接続が可能である。
		情報コンセント	大学院棟の共同研究室には1 Gbpsの情報コンセントが多数配備されており、利用申請があった場合に有効化を実施している。
		リモート接続	VPN接続：L2TP
ファイルサーバ	CNS	ホームディレクトリ	容量：3 GB（メールプール・個人用Web領域を含む）
		メディアサーバ	容量：全体で100TB 映像編集など大容量ファイルの一時保管用のためバックアップは取得しない。
	ERNS	ホームディレクトリ	容量：制限なし
		MetaSAN	容量：制限なし ・高速アクセスストレージの実験環境として運用中

サービス	区 分	種別/利用資格等	内 容
電子メール	CNS	アドレス	sfc.keio.ac.jp 学部生：命名ルールに基づきアドレス部を自動生成 大学院生・教職員：任意の文字列にて作成
		メーリングリスト	形式：エイリアス、QuickML（ドメイン部が@qml.sfc.keio.ac.jpとなる）、Majordomo 申請：Webからのオンライン申請（新規登録のみ対応）
	ERNS	アドレス	mag.keio.ac.jp 大学院生・大学院教職員：任意の文字列にて作成
		メーリングリスト	形式：エイリアス、QuickML（ドメイン部が@qml.mag.keio.ac.jpとなる）、FML 申請：Webからのオンライン申請
Web	CNS	個人用	ホームディレクトリの中で作成・公開が可能
		共用作業領域	教職員を申請者とし、サブドメインでのグループ管理が可能なWebスペースを提供している。
印刷環境	CNS	オンデマンド印刷	対象：CNSアカウントの取得者、キャンパス内設置パソコンから印刷要求し、印刷履歴より課金請求
		IPP印刷	対象：CNSアカウントの取得者、個人所有のパソコンからインターネットやキャンパス内ネットワークを使って印刷要求
	ERNS	ネットワークプリンタ	対象：ERNSアカウントの取得者、大学院棟共用端末および個人所有のパソコンからキャンパス内ネットワークを使って印刷要求
		大判印刷	対象：ERNSアカウントの取得者、大学院棟共用端末およびリモートデスクトップサービスから印刷要求
貸出PC	学生	対象：慶應義塾所属の学生・教職員 貸出期間：原則は当日返却で、翌日が窓口稼働日の場合は翌日返却可（キャンパス外持ち出し禁止） 台数：50台	
	教員	対象：湘南藤沢キャンパスを本務とする常勤の教員	
ソフトウェア	学生	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる 利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール	
	教職員	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる 利用方法：窓口にてインストールメディアを貸出す	
遠隔会議・イベント対応	機器貸出	対象：申請者は教員とし、学生利用可（Webによるオンライン予約） 台数：4台	
	利用者支援	・ネットワーク利用と遠隔会議システムのサポート ・利用前日に貸出機器の操作説明を実施	
窓口・ヘルプデスク	ITC 事務室	窓口	受付時間：月～金 9：15～17：00 ・CNS/ERNSにおける利用相談 ・CNS/ERNS各種申請受付
	CNS コンサルタント	ヘルプデスク	受付時間：月～金 9：20～22：30 ・CNSにおける利用相談 ・機器貸出（ノートPC、無線LANカード、DVDドライブ）
	ERNSアドバイザー	ヘルプデスク	受付時間：月～金 9：00～22：00 ・ERNSにおける利用相談 ・ERNS各種申請受付
利用説明会・ガイダンス	講習会	・CNSガイダンス（学部新生生に対し講義編、実習編を春学期・秋学期の年二回実施） ・ノートPC利用講習会（共同購入ノートPCの購入者向け） ・CNS/ERNSガイダンス（大学院新生生に対して講義形式で春学期・秋学期の年二回実施）	
広報			湘南藤沢ITCWeb CNSガイド（新生生向けのガイドブックとして年一回発行し、CNSガイダンス時に配布）

|| キャンパスネットワークシステム ||

研究・教育支援

【芝共立ITC】

サービス	種別/利用資格等	内 容
芝共立キャンパス (SKC) 情報ネットワークアカウント	Windows	対象：薬学部学部生・大学院生・教職員・その他
ネットワーク接続	無線LAN	ステルスSSID WEPキー対応
	情報コンセント	申請制StaticIP付与、全講義室・会議室・実習室等設置
電子メール	教員	pha.keio.ac.jp
	学生	keio.jp
印刷環境	オンデマンド印刷	対象：芝共立キャンパス (SKC) ネットワークアカウント取得者
ソフトウェア	学生	対象：各種ソフトウェアライセンスの契約内容により異なる 利用方法：パソコンを持参し、窓口にてインストール
	教員	対象：ソフトウェア毎の契約により異なる 利用方法：窓口にてインストールメディアを貸出し
遠隔会議・イベント対応		ネットワークの利用と遠隔会議システムのサポート
窓口・ヘルプデスク	各種申請窓口	受付時間：平日 9：00～17：00、土曜 9：00～13：10 SKC共通認証システムアカウントの照会、パスワード変更、プリンタ枚数追加申請など
	ヘルプデスク	受付時間：平日 9：00～17：00、土曜 9：00～13：10
利用説明会・ガイダンス		毎年4月の各学年・院生対象のガイダンス時に利用説明
広報		芝共立ITCWebおよび、学部内ポータルサイト「薬学部情報の窓」

|| 一貫教育校支援 ||

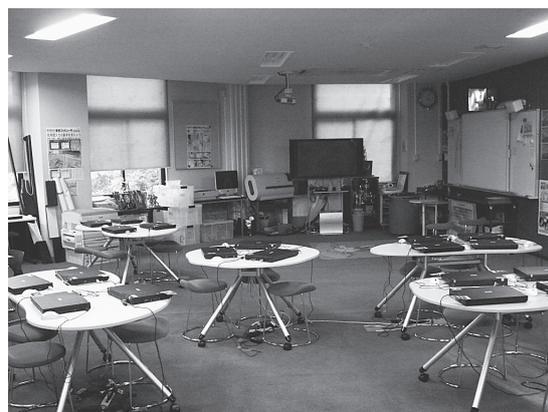
慶應義塾は、小学校から高等学校までの一貫教育校を有する。幼稚舎、普通部、中部部、湘南藤沢中部部・高等部、高等学校、志木高等学校、女子高等学校について、三田、日吉、湘南藤沢の3キャンパスのITCにサポート体制を整備して、ネットワーク設備や教育用コンピュータ設備等の導入や環境構築、定期的な要員派遣やオンデマンドでのヘルプデスクによる支援を行っている。

一貫教育校の代表者とITC関係者が一堂に会する定期的な連絡会を、年に2回開催し、活動報告、情報共有や情報交換を行うとともに、各校の情報環境整備に関するアンケート調査の分析結果や、最新の技術動向を踏まえた今後の整備の方向性の提案、パソコンの取りまとめ購入による支出削減や有効な設備投資等の提案により、各校の独自性を尊重しつつ、義塾として調和の取れた情報環境の整備を図っている。

メールやWebの利用は教育現場においても不可欠なものとなっているが、これらのシステムを保有し、それを運用・管理することは、各校の担当者にとっては非常な負担になる場合もある。ITCではメールとWebのホスティングサービスにより、セキュリティレベルの高い利用環境を提供するとともに、教育現場における利用の便宜と負担の軽減を図っている。



幼稚舎：情報教室（デスクトップ）



幼稚舎：情報教室（ノートPC）

【三田ITC（幼稚舎、中部部、志木高等学校、女子高等学校）】

三田ITCは、幼稚舎、中部部、志木高等学校、女子高等学校の4校のサポートを担当している。各校とも、それぞれの教育カリキュラムに連携した情報利用環境が用意されており、三田ITCは、ネットワーク設備や教育用コンピュータ設備の導入や利用環境の構築、運用や障害発生時の現地対応を含めた支援、定期的な要員派遣やオンデマンドでのヘルプデスクによる利用支援等を行っている。2008年度に実施した支援の中で、主なものは下記のとおりである。

幼稚舎：ネットワーク設備、情報教室設置パソコン、教員用パソコンのリプレース等、大規模な利用環境の改善が行われたが、業者による現地調査、機器調達および工事費用の見積、導入と環境構築の現地作業の支援を行った。また、メールおよびWebホスティング

グサービスの利用に際して、その移行作業の支援を行った。

【中等部】：新任教員貸与パソコンの調達、および、教員貸与パソコンのメンテナンスと日常的な利用支援を行った。また、メールおよびWebホスティングサービスの利用にあたり、その移行作業の支援を行った。

【志木高等学校】：教育用パソコン設備のリプレース、および、次年度計画のネットワーク工事について、業者による現地調査、機器調達および工事費用見積等の支援を行った。また、Webホスティングサービスの利用にあたり、コンテンツの移行作業を行った。

【女子高等学校】：校内設備の改修工事に伴い、ネットワークやコンピュータ機器の一時的な退避が必要になったが、その計画の立案、業者による現地調査、工事費用についての見積等の支援を行った。同校の情報関係サポート要員の交替に伴い、新任者育成の支援を行った。

【日吉ITC（普通部・高等学校）】

日吉ITCは、同じキャンパス内にある高等学校、および歩いて10分ほどの普通部（中学校）、2校の一貫教育校を支援している。

【普通部】：日吉ITCのスタッフ1名が週に1回（1日）現地に行き、支援を行っている。普通部での主な支援内容としては、教室等に設置している教育用パソコン等のメンテナンス、運用における利用支援、ネットワーク機器のメンテナンス、システムの維持管理等がある。

【高等学校】：日吉ITCのスタッフ1名が週に3回（半日2回と1日1回）現地に行き、支援を行っている。高等学校での主な支援内容としては、サーバのメンテナンス、運用における利用支援、ネットワーク機器のメンテナンス、システムの維持管理等がある。

両校とも各種機器のトラブル発生時やリプレース時等には、上記の支援スケジュール以外でも現地に行き対応を行っていることもある。教育におけるパソコンやネットワーク等のIT利用が増え、支援内容は細かく多岐にわたっており、支援する側としては大変なこともあるが、今後も継続して支援を行っていきたいと考えている。

【湘南藤沢ITC（湘南藤沢中等部・高等部）】

湘南藤沢ITCでは、同じキャンパス内にある湘南藤沢中等部・高等部の情報教育環境の運用・管理について、主に技術的な支援を行っている。

【湘南藤沢中等部・高等部】：設立当初より校内LANやコンピュータ教室の配備、リテラシー教育から情報の活用・編集といったカリキュラムなど、情報環境を新たなコミュニケーション手段、あるいは表現の道具として活用する教育環境が整備されていたこともあり、設備の運用・管理体制の維持が欠かせないものとなっていた。主にコンピュータ教室を利用する教員を中心に組織する委員会の設置や、専任の技術スタッフの配置など、湘南藤沢中等部・高等部が実践する情報教育を、湘南藤沢ITCはコンピュータシステムやネットワークの運用・管理といった側面から支援を行っている。

2008年度は校内LANを構成するネットワーク機器の更新をはじめ、ファイルサーバや教員用パソコンなど、主要なコンピュータ機器のリプレースを実施し、機器の導入から環境構築等について支援を行った。

|| サテライトキャンパス支援 ||

下記サテライトキャンパスについて、利用者からの問合せ対応をはじめとし、必要に応じて要員を派遣するなどのサポートを行っている。

- ・新川崎タウンキャンパス (K²)
- ・鶴岡タウンキャンパス (TTCK)
- ・浦和共立キャンパス
- ・慶應大阪リバーサイドキャンパス
- ・慶應丸の内シティキャンパス

|| 事務・経営情報支援 ||

区 分	細 目	内 容	
キャンパス間ネットワーク		5キャンパスに設置されたNW機器の運用・管理、キャンパス間接続はトンネル構成	
キャンパス内ネットワーク		dhcpでのクライアント運用、外部へのアクセス制限、イントラネット運用・管理	
基幹系システム	サーバ	データベース	学事、経理・管財、塾員、外部資金、信濃町経理、学総、保健管理、通信教育、施設予約
		プロキシサーバ	5キャンパスに設置、HTTPと塾内研究・教育環境向けPOP、SMTP、TELNET、FTP
		メールサーバ	adst.keio.ac.jp ドメインのメールシステムの運用・管理
		ファイルサーバ	三田・日吉にて全事務部門の共有フォルダをDR構成にて分散管理
	業務用PC	運用	PCの機種選定およびソフトウェアの検証
ヘルプデスク		職員からのQ/A対応。申請処理。故障端末の修理依頼。利用ガイドの作成。端末管理	
情報系システム	仮想化サーバ	基幹系、メール、ファイルサーバ以外は、仮想化サーバに集約して管理をしている。	
他部署開発関連	案件の集約	他部署での開発案件を集約し、仕様確認、開発業者との橋渡しを行っている。	

||その他||

区 分	細 目		内 容
補助金	文部科学省私立大学等経常費補助金		平成20年度文部科学省経常費補助金特別補助申請 ・「教育学習方法等改善」：1件 ・「情報通信設備借入」：11件 ・「教育研究用ソフトウェア」：19件 ・「教育学術情報ネットワーク支援」：3件
ソフトウェア資産管理			・アセスメント ・ソフトウェア利用状況調査 ・体制構築準備 ・Webによる周知（啓蒙活動）
サーバ証明書ライセンス			Verisign SSL証明書 サイバートラスト SSL証明書
会議	ITC評議会		開催日：7/1、12/12
	ITC運営委員会		開催日：4/17、5/26、6/27、9/26、10/23、12/4、1/26、3/24
	ITC利用者協議会		各地区開催
	一貫教育校・ITC連絡会議		開催日：5/23、11/13
ワーキンググループ	共通認証（keio.jp）検討WG		keio.jpの在り方とその運用規程の検討
	セキュリティポリシー検討WG		義塾情報セキュリティポリシーの検討
	広報WG		様々な媒体を利用したITCサービスの効果的な広報活動の検討
塾外活動	大学間連携	私立大学情報教育協会	私立の大学、短期大学、高等専門学校における情報教育の振興・充実を図るために設立された社団法人 私立大学情報教育協会に会員として加盟。
		大学情報サミット	個々の大学の枠組みを超えて、参加大学の研究・教育活動の向上に向けた共通の課題解決を図るべく、様々な調査、提案を実施。 参加大学：中央大学・法政大学・明治大学・立教大学・早稲田大学・慶應義塾大学

|| 各種統計 ||

ITC管理PC総数

教育研究用（PC・WS保有台数）

* 教員向けは除く

地 区	Win/Mac	UNIX	計
三田	760	0	760
日吉	1,026	0	1,026
信濃町	255	3	258
矢上	412	283	695
湘南藤沢	533	0	533
芝共立	121	0	121
合 計	3,107	286	3,393

業務系（PC保有台数）

地 区	台 数
三田	986
日吉	197
信濃町	452
矢上	70
湘南藤沢	103
芝共立	36
合 計	1,844

無線LAN アクセスポイント数

地 区	アクセスポイント数
三田	486
日吉	366
信濃町	10
矢上	241
湘南藤沢	246
芝共立	8
合計	1,357

PC室数

地 区	室 数
三田	10
日吉	13
信濃町	4
矢上	7
湘南藤沢	8
芝共立	1
合計	43

アカウント数

学部生

区 分	三田	日吉	信濃町		矢上	湘南藤沢	芝共立	合 計		
	LDAP	LDAP	UNIX	Win	UNIX	UNIX	Win	LDAP	UNIX	Win
文学部	2,501	3,435	0	12	0	0	0	5,936	0	12
経済学部	2,751	5,197	0	6	1	0	0	7,948	1	6
法学部	2,729	5,171	0	10	0	2	0	7,900	2	10
商学部	2,343	4,360	1	6	0	0	0	6,703	1	6
医学部	24	608	68	476	3	0	0	632	71	476
理工学部	185	4,374	1	4	962	0	0	4,559	963	4
総合政策学部	198	105	0	1	0	1,930	0	303	1,930	1
環境情報学部	106	97	0	0	0	1,882	0	203	1,882	0
看護医療学部	5	6	32	213	0	435	0	11	467	213
薬学部	1	234	0	1	0	0	862	235	0	863
合 計	10,843	23,587	102	729	966	4,249	862	34,430	5,317	1,591

大学院生

区 分	三田	日吉	信濃町		矢上	湘南藤沢	芝共立	合 計		
	LDAP	LDAP	UNIX	Win	UNIX	UNIX	Win	LDAP	UNIX	Win
文学研究科	290	41	1	7	0	0	0	331	1	7
経済学研究科	83	14	0	0	0	1	0	97	1	0
法学研究科	177	22	2	7	0	0	0	199	2	7
社会学研究科	100	12	0	0	0	0	0	112	0	0
商学研究科	113	13	0	1	0	0	0	126	0	1
医学研究科	0	1	95	126	0	0	0	1	95	126
理工学研究科	57	1,154	0	3	307	2	0	1,211	309	3
政策・メディア研究科	88	18	2	3	0	493	0	106	495	3
健康マネジメント研究科	12	19	7	122	0	101	0	31	108	122
薬学研究科	1	0	0	1	0	0	229	1	0	230
経営管理研究科	44	225	0	2	0	0	0	269	0	2
システムデザイン・マネジメント研究科	69	34	0	0	0	0	0	103	0	0
メディアデザイン研究科	72	39	0	0	0	2	0	111	2	0
法務研究科	556	11	0	4	0	0	0	567	0	4
合 計	1,662	1,603	107	276	307	599	229	3,265	1,013	505

その他

区 分	三田	日吉	信濃町		矢上	湘南藤沢	芝共立	合 計		
	LDAP	LDAP	UNIX	Win	UNIX	UNIX	Win	LDAP	UNIX	Win
特別学生	127	35	0	0	13	2	0	162	15	0
日本語別科生	143	7	0	0	3	0	0	150	3	0
学部研修生	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0
通信教育部	165	37	0	0	0	2	0	202	2	0
教職員	1,029	912	819	577	68	744	112	1,941	1,631	689
その他	71	105	0	0	29	598	223	176	627	223
合 計	1,535	1,102	819	577	113	1,346	335	2,637	2,278	912

*特別学生（研究生・科目等履修生・特別聴講生・教職課程科目履修生・教職課程生他）

*日本語別科生（日本語研修課程）

*通信教育部（正科生・教職科目等履修生）